

パブリックコメント「学校施設再生計画(第2期計画)(案)」に頂いたご意見と市の考え方

1 結果の概要

- (1)パブリックコメント実施期間 令和元年12月1日～12月28日
 (2)提出された方の総数 3人(メール2人、FAX1人)
 (3)提出された意見の総数 26件

2 御意見の概要と市の考え方

No.	項目	頁	御意見の概要	市の考え方
1	3. 学校施設の実態	7	<ul style="list-style-type: none"> 児童数・生徒数の推計の根拠について (1)児童・生徒数の推計は平成30年4月の住民基本台帳を基本に行われているが、将来推計はどのようにして行ったのか。又、推計に用いられた項目(要素)はどの様なものがあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「平成30(2018)年度版小・中学校児童・生徒数及び学級数推計」を基に計画を策定いたしました。児童・生徒数は、住民基本台帳上の0歳児からの人口をそれぞれの年度に移行するとともに、開発による社会増や就学率等の項目を考慮し、推計しております。
2	(2)児童生徒数及び学級数の推計		<ul style="list-style-type: none"> (2)今後の住宅開発についてはどの様に考え、児童数・生徒数への影響をどの様に推計したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為の事前協議があった案件につきまして、過去の開発における子どもの発生率を算出し、推計しております。

No.	項目	頁	御意見の概要	市の考え方
3	3. 学校施設の実態 (4) 今後の維持・更新コスト (長寿命化型)	29	<p>・「本計画(案)の全面見直し」について 本計画(案)は、「今後の維持・更新コスト」の縮減の検討も、学校施設に関するいろいろな課題の検討も、ほとんど行われていない非常に不備なものであるため、「全面見直し」を提案する。それを前提に、以下に「今後の維持・更新コスト」についてコメントし、行政の考えを問う。本計画(案)の「今後の維持・更新コスト」は過去の「施設管理費(16.6億円/年)」に比べて1.8倍(従来型:29.4億円/年・長寿命型:30.3億円/年)で、実現するためには40%以上の費用の削減が必要であり、学校施設の必要性と児童生徒の推計値を考慮すれば、本計画(案)の「維持・更新コスト」では学校施設の再生ができるとは思えない。又、「維持・更新コスト」については、「習志野市学校施設再生計画(第2期計画)検討専門委員会」でも、委員から「1.6倍(※)のままでは「できない計画」であると思わないといけない(第5回会議録(H31.3.15))」と指摘されているにも拘らず、コスト縮減の検討が全く行われていない。しかも「長寿命化型」のコストは専門委員会の資料(1.6倍)より増えた計画(案)となっている。[(※):1.6倍は委員会に提出された資料の数値である]そして、コスト縮減に関して、本計画(案)では「改築時の費用を圧縮する方策等の検討を進めていきます(3.・(4)・2)試算結果(長寿命化型)P29)」とし、これから検討することになっている。市民にパブリックコメントを求めるのであれば、「これから検討する計画(案)」ではなく、「改築時の費用の圧縮策等の検討」を十分にを行い、行政が実現可能と考える計画(案)を提示するのが本来の進め方である。本計画(案)の全面見直しを行い、パブリックコメントを要請するのに相応しい実現性のある計画(案)に改訂する必要がある。</p> <p>(1) 行政は、本計画(案)が実現できると考えているのか。又、その根拠は何か。</p>	<p>・ 今回の計画は、本市の市立小中学校及び市立高等学校における令和2年度から令和7年度まで(6年間)の計画として策定しており、この実施計画につきましては、実行性を考慮し策定いたしました。</p> <p>40年間という長期のコスト試算を行った理由といたしましては、学校施設の老朽化対策の困難な状況を市民の皆様と共有し、課題解決に向けた取組みを共に進めたいとの観点からであります。</p> <p>なお、学校施設を含む市全体の公共施設の老朽化対策につきましては、現在、市長事務局(資産管理課)において、公共施設再生計画の見直し作業中であり、本計画との整合性を図っており、第2次学校施設再生計画期間中の事業計画につきましては、実施可能な事業費であると認識しております。</p>

No.	項目	頁	御意見の概要	市の考え方
4	3. 学校施設の実態 (4) 今後の維持・更新コスト (長寿命化型)	29	<ul style="list-style-type: none"> ・ (2) 「今後の維持・更新コスト」の試算結果だけを考えても本計画(案)の実現が難しいと思うが、このような計画(案)を提示して、行政は市民にどのようなコメントを期待しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設は市民の皆様の関心の高い施設であることから、学校施設の老朽化の現状と課題解決の困難な状況を共有していただき、「習志野市の将来世代の教育環境をより良いものにしていくためには、このようなことができるのではないか」「市民としてこんなことが協力できるのではないか」「教育委員会としてこういうことを考えるべきではないか」といった、子どもたちの教育に関する未来志向の前向きな御提案、御意見を期待しております。
5	全般	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ (3) 私の「本計画(案)の全面見直し」の提案に対して、行政はどのように考えるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現段階で本計画の全面見直しは考えておりません。本計画に記載しましたとおり、コストや適正規模・適正配置など様々な課題につきましては、第2次学校施設再生計画の計画期間中に検討を進めることとしており、これらの課題への対応方針や考え方が定まった後は、必要に応じて、計画の見直しを行ってまいります。
6	3. 学校施設の実態	29	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 施設の「維持・更新コスト」は、「従来型(29.4億円/年)」に比べて「長寿命化型(30.0億円/年)」の方が高くなっているが、その理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市の場合、学校施設の老朽化が進んでおり、たとえ長寿命化改修をおこなったとしても、今後40年の間に、長寿命化した施設の改築を行う必要が生じることから、平均的なコストは、この期間においては、高くなっております。
7	(4) 今後の維持・更新コスト (長寿命化型)		<ul style="list-style-type: none"> ・ (2) 国は、学校施設の長寿命化の目的の一つに、「効率的・効果的な老朽施設の再生によるトータルコストの縮減・予算の平準化(学校施設の長寿命化計画策定に係る手引：H27.4)」を挙げている。しかし、本計画(案)では「平準化」は行われているものの、「トータルコストの縮減」はできていない。国の考えと本市の試算結果の違いは何か。 	

No.	項目	頁	御意見の概要	市の考え方
8	3. 学校施設の実態 (4) 今後の維持・更新コスト (長寿命化型)	29	<ul style="list-style-type: none"> ・ (3) 「従来型」も「長寿命化型」も過去の「施設関連経費」に比べると1.8倍で、このままでは実現不可能であることを行政も認識して、「改築時の費用を圧縮する方策等の検討を進めていきます(P29)」としているが、どのような体制で、いつまでに見直すのか。そして、見直した結果をどのような方法で市民に公開するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の建設事業をめぐる様々な環境は、適正な労務環境の確保や人材不足による人件費や資材費等の高止まりなど、構造的に事業費が増加する背景があり、改築等の費用を圧縮することが大変困難な状況にあります。そのような中で、現在、大久保小学校の改築に向けた基本計画・基本設計業務を行っており、費用の圧縮など効率的、効果的な事業実施に向けて検討しております。 ・ この点を含め、公共施設の適正管理の推進については、本市の公共施設等総合管理計画推進体制のもとで、検討をまいります。 ・ 本計画の見直し等を実施した際は、ホームページや情報公開コーナー等において、公表まいります。
9			<ul style="list-style-type: none"> ・ (4) 「習志野市学校施設再生計画(第2期計画)検討専門委員会」で、委員から「1.6倍のままでは「できない計画」であると思わないといけない(第5回会議録(H31.3.15))」と指摘されているが、委員の指摘に対してどのような検討が行われたのか。又、委員の指摘をどのように受け止めているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ No3の回答をご参照ください。 ・ なお、一部委員からは、老朽化が進んでいる自治体における長寿命化手法の導入に対して、結果として長期スパンでは総事業費が増加してしまうという今回の習志野市の結果は、文部科学省でも想定していない結果かもしれないといったご意見もいただいております。今後、長寿命化改修の効果等につきましては、市長事務局(資産管理課)と更なる検討を進めていきたいと考えております。
10			<ul style="list-style-type: none"> ・ (5) 「習志野市学校施設再生計画(第2期計画)検討専門委員会」の資料(第5回「資料3」(H31.3.15))では、「長寿命化型」の「今後の維持・更新コスト」は過去に比べて1.6倍(26.6億円/年)となっているが、何故、本計画(案)では1.8倍(30.0億円/年)になったのか。その理由の説明を求め。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市全体の長寿命化の考え方に合わせて、試算条件を変更したことにより、長寿命化改修を行う学校数が増え、40年の期間でのコストでは増加することとなりました。
11	4. 学校施設整備の基本的な方針 (2) 習志野市の教育の目指す姿を実現するための学校施設の整備	31	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 「視点① 柔軟性に富んだ施設」について「変化する教育内容や教育方法に弾力的に対応できる構造にします」としているが、「弾力的に対応できる構造」とは、どのような構造を考えているのか。そして、「維持・更新コスト」への影響をどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「弾力的に対応できる構造」とは、オープンスペースや多目的教室を設置するなど、将来の施設機能、需要等の変化にも柔軟に対応ができる構造を考えております。 ・ なお、「維持・更新コスト」については、これらの施設を取り入れた谷津小学校の建築単価を参考に算出しております。

No.	項目	頁	御意見の概要	市の考え方
12	4. 学校施設整備の基本的な方針 (2) 習志野市の教育の目指す姿を実現するための学校施設の整備	31	<ul style="list-style-type: none"> ・ (2) 「視点② ゆとりと潤いのある施設」について「ゆとりと潤いのある施設とするとともに、学習意欲を高める生活空間などを形成します」としているが、「ゆとりと潤いのある施設」とはどのような施設を考えているのか。又、「学習意欲を高める生活空間」とはどのような空間を考えているのか。そして、「維持・更新コスト」へのそれぞれの影響をどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ゆとりと潤いのある施設」については、校舎等の一部木質化や自然採光・換気、トイレ整備など学習意欲を高める生活空間の整備に取り組んでおります。なお、「維持・更新コスト」については、これらの施設を取り入れた谷津小学校の建築単価を参考に算出しております。
13			<ul style="list-style-type: none"> ・ (3) 「視点④ 安全・安心で質の高い教育環境」について「地域の人々の生命を守る施設・機能を備えたものとし再生します」としているが、災害時の避難所として、どのような施設・機能を考えているのか。そして、「維持・更新コスト」への影響をどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「災害時の避難所」として、防災備蓄倉庫や災害時のトイレ利用を考慮した施設を考えております。なお、「維持・更新コスト」については、これらの施設を取り入れた谷津小学校の建築単価を参考に算出しております。
14			<ul style="list-style-type: none"> ・ (4) 「視点⑤ 地域との交流・連携施設」について「子どもを含めた地域の人々が交流・連携しやすい空間を形成します」としているが、「交流・連携しやすい空間」とはどのような空間を考えているのか。そして、「維持・更新コスト」への影響をどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「交流・連携しやすい空間」とは、施設の地域開放がしやすい施設配置を考えております。なお、「維持・更新コスト」については、これらの施設配置を考えた谷津小学校の建築単価を参考に算出しております。
15	4. 学校施設整備の基本的な方針 (3) 学校施設再生計画における課題	32	<ul style="list-style-type: none"> ・ 谷津小等の小学校で児童数が今後著しく増加する推計に関し、市内の他小学校で受け入れを行う等、具体的な対応に関して本計画案では示されていません。谷津小で受け入れできない児童を谷津南小に通学させている事態や他自治体での取組等を踏まえ、児童数が著しく増加する事態への検討状況、対応方針、具体的な計画について計画に明記願います。その際には、人口・住宅政策と学校施設再生計画との中長期的な連携という観点(例:大規模な新興住宅地又はマンション群を開発する際の学校施設のあり方)を含めて記載頂くようお願いいたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 習志野市立小中学校施設における「適正規模・適正配置」につきましては、有識者等を加えた検討組織を設置するなど、令和2年度中に検討し、方針を策定する予定です。また、人口・住宅政策等との関連は、市長事務部局の関係各課との調整が必要となることから、学校施設を含めた公共施設全般の中長期的な計画である「第2次公共建築物再生計画」と調整を図りつつ、今後、適正規模・適正配置の基本方針等が定まった後に、必要に応じて計画の見直しを行ってまいります。

No.	項目	頁	御意見の概要	市の考え方
16	4. 学校施設整備の基本的な方針 (3) 学校施設再生計画における課題	32	<ul style="list-style-type: none"> 計画案32頁で「適正規模・適正配置」、「学区見直し」、「小中一貫教育」、「地域と連携する施設」、「複合化・多機能化」に関し、「検討を進めていきます」程度の記載しかありません。これらの課題は学校施設再生にとって核となるものであり、少なくとも現状の検討状況や検討の方向性を記載するようお願いいたします。仮に「検討を進めていきます」程度の記載に留める場合、これらの重要な課題に関し、検討において有識者等による検討だけでなく、パブリック・コメント、公聴会、町内会やPTA等との協議等を通じ、地域住民の意見を最大限反映させていく旨を明記願います。 	<ul style="list-style-type: none"> 習志野市立小中学校施設における「適正規模・適正配置」につきましては、有識者等を加えた検討組織を設置するなど、令和2年度中に検討し、方針を策定する予定です。また、「学区見直し」、「小中一貫教育」につきましても、適正規模・適正配置を考えていく中で、検討を進めてまいりたいと考えております。「地域と連携する施設」及び「複合化・多機能化」につきましても、学校施設再生計画の重要な方針であることから、検討方法を含めた検討を進めてまいります。これらの課題への対応方針や考え方が定まった後は、必要に応じて、計画の見直しを行ってまいります。
17			<ul style="list-style-type: none"> 第2期中に検討する課題として「適正規模・適正配置、学区見直し、小中一貫教育、地域と連携する施設、複合化・多機能化」を挙げているが、いずれの課題も、ハード・ソフトを含めて「維持・更新コスト」の算定に重要な影響を及ぼすものと考えられる。 (1) 今回の「維持・更新コスト」の算定の際に、これらの課題に対してどの様な考慮が払われたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本計画におきましては、第1期計画で検討が進まず、結論に至っていない状況から、これまでの考え方をもとにコストの算定をしており、維持・更新コストへの反映はしていません。
18			<ul style="list-style-type: none"> (2) もし、考慮されていないのであれば、今回提示した「維持・更新コスト」はもっと増えると思われるが、どの様に対応するつもりか。 	<ul style="list-style-type: none"> No16及びNo17の回答をご参照ください。なお、適正規模・適正配置等の方針が決定した段階で、コスト増に繋がる要因があれば、第2次学校施設再生計画の見直しを行ってまいります。
19			<ul style="list-style-type: none"> (3) これらの課題を第2期中に検討するとしているが、どの様な体制で、いつまでに見直すのか。そして、見直した結果をどの様な方法で市民に公開するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> No16及びNo17の回答をご参照ください。計画の見直しにつきましては、ホームページや情報公開コーナーにおいて公表いたします。
20	5. 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準 (1) 改築等の整備水準	33	<ul style="list-style-type: none"> 体育館のエアコン設置についてこれも防災ではなくてはならないでしょう。又集団では避難できない人のためにも、教室の開放もあわせておねがいします。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、最優先課題として、老朽化した学校施設の改築やトイレ改修を含む大規模改修に取り組んでおりますことから、各学校の体育館へのエアコンの設置につきましては、今後の検討課題として捉えております。避難所としての学校施設の利用につきましては、防災担当の危機管理課と連携し、検討してまいります。

No.	項目	頁	御意見の概要	市の考え方																																																																								
21	6. 学校施設再生計画(第2期計画)実施計画 (1) 学校施設再生計画(第2期計画)実施計画	36	<ul style="list-style-type: none"> 第1期と第2期の「工事件数」をまとめると以下の通りである。 第1期計画は、財源不足を主な理由として、計画通りには実施されていない。又、第2期は、第1期計画より工事件数が増えている。この実態を踏まえて、以下にコメントと質問を記す。 <p>〔第1期計画〕: 大規模改修・改築</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>合計件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大規模改修</td> <td></td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>改築</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計件数</td> <td></td> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注): 「耐震補強」、「増築」を除く</p> <p>〔第2期計画〕: 大規模改修・長寿命化・改築</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>合計件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大規模改修</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>長寿命化工事</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>改築</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計件数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 第2期計画は財源不足が明らかであるにも拘らず、第1期計画に比べて工事件数が多くなっている。本当に実現できると考えているのか。</p>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計件数	大規模改修		2	4	4	4	4	18	改築			1	1	1	2	5	合計件数		2	5	5	5	6	23	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計件数	大規模改修	1	1	2	2	1	1	8	長寿命化工事			1	2	4	3	10	改築	1	1	2	2	2	1	9	合計件数	2	2	5	6	7	5	27	<ul style="list-style-type: none"> No3の回答をご参照ください。 今後は、設計業務を行う中で、効率的な工事の実施方法につきましては、引き続き検討してまいります。 いただいた御意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
年度			H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計件数																																																																			
大規模改修		2	4	4	4	4	18																																																																					
改築			1	1	1	2	5																																																																					
合計件数		2	5	5	5	6	23																																																																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計件数																																																																					
大規模改修	1	1	2	2	1	1	8																																																																					
長寿命化工事			1	2	4	3	10																																																																					
改築	1	1	2	2	2	1	9																																																																					
合計件数	2	2	5	6	7	5	27																																																																					
22			<p>(2) 第2期計画の年度ごとの件数は最大7件(R6年度)であるが、工事推進のための担当者の確保はできるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり工事を行えるように、市長事務部局の工事担当の施設再生課と連携し、対応してまいります。 																																																																								
23	6. 学校施設再生計画(第2期計画)実施計画 (2) トイレの整備	37	<ul style="list-style-type: none"> トイレの洋式化及び補修について 子ども達は日々過ごしている生活の場です。トイレは最優先でお願いします。家庭であれば、すぐに借金してでもきれいにするところです。計画を前倒しにしてください。体育館は防災で地域の人も使うかも知れないトイレです。車いす用も欲しいとの声もあった程です。早急をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用頻度の高い普通教室のトイレにつきましては、洋式化・乾式化を早期に整備できるように取り組んでまいります。 体育館のトイレにつきましては、順次、整備をしてまいります。 																																																																								

No.	項目	頁	御意見の概要	市の考え方
24	7. 学校施設再生計画の継続的運用方針 (2) 推進体制の整備	38	・ (1) 推進体制に関して、「学校施設の再生に向けた実施体制を構築する」としているが、これまでは「実施体制」がなかったのか。	<ul style="list-style-type: none"> 第1期計画の実施体制としましては、計画の進行管理は教育委員会 教育総務課で行い、工事等の技術的な部分は、市長事務部局の施設再生課において実施いたしました。 第2次学校施設再生計画を実施するにあたり、実施体制を充実させ、より効率的に実施する必要があるため、「実施体制を構築する」との記述といたしました。
25			・ (2) 第1期計画はどのような「実施体制」で計画を推進したのか。	
26	7. 学校施設再生計画の継続的運用方針 (3) フォローアップ	38	<ul style="list-style-type: none"> 「PDCAサイクルを実施していくことが重要です」としているが、「PDCAサイクル」は本計画(案)の推進時だけでなく、本計画(案)の策定時にも重要であることを認識すべきである。即ち、本計画(案)を策定する際には、第1期計画の検証を行い、課題を整理し、その課題を解決する方策を検討することが重要である。しかし、本計画(案)には、第1期計画の実績の検証に基づく課題の整理とその解決策が全く記述されていない。これでは「PDCAサイクル」の重要性を示しても、実行性が担保されるとは言い難い。「PDCAサイクル」の重要性を認識しているのであれば、本計画(案)には、第1期計画の検証を行い、課題を整理し、その課題を解決する方策の検討を含めて記述するべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 本計画の策定過程において、習志野市学校施設再生計画(第2期計画)検討専門委員会の中で、これまでの各事業の実績や課題等を検証しております。 なお、課題への取り組みにつきましては、「4. 学校施設整備の基本的な方針」・「(3) 学校施設再生計画における課題」において、記載しております。